



広島県議会議員

くりはら俊二

ひろしま県議会通信

発行：公明党広島県議会議員団 担当者：広島県議会議員 栗原俊二
住所：広島市中区基町10-52 連絡先：☎082-513-4660 ✉s-kurihara@pref.hiroshima.jp

2013年 春号

＜皆さまのご意見ご要望をお聞かせください。＞



3月21日 満開の枝垂れ桜（東京都八王子市にて）
撮影：栗原俊二

2月定例県議会の概要

広島県議会は、2月定例会を2月18日から3月15日までの26日間の会期で開きました。

今回の定例会では「平成25年度広島県一般会計予算」や「広島県職員定数条例等の一部を改正する条例」、「工事請負契約の締結について」など、85議案を審議し原案のとおり可決しました。

本会議においては、行財政改革、教育問題、産業・観光振興、危機管理体制の充実、農業問題などの県政が直面する様々な課題について質問が行われました。平成25年度当初予算案については予算特別委員会を設置し審査したほか、各常任委員会において付託された各議案などについて審査・調査を行いました。

平成25年当初予算の概要

〔一般会計〕

当初予算 9,221億円（前年度比△0.9%）

当初予算+2月補正 9,494億円（前年度比+2.0%）

〔特別会計〕 3,193億円（前年度比+12.4%）

〔企業会計〕 594億円（前年度比△2.4%）

広島県の平成25年度の一般会計当初予算の規模は、総額9,221億円で、平成24年度補正予算の国の緊急経済・雇用対策予算を含めると総額9,494億円となり、対前年度比190億円、2%の増となります。国が実施した平成24年度の補正予算と平成25年度予算を合わせ、いわゆる「15ヶ月予算」の考え方を踏まえ、切れ目のない緊急経済雇用対策をスピード感を持って取り組むこととしています。

生活福祉保健委員会 栗原俊二議員の質問概要

3月4日 ①ドクターヘリ事業について

- ・人材養成プログラムについて
- ・運用面での諸課題について

②プラチナ世代の社会参画について

- ・今年度の取り組みと来年度の取り組み方針
- ・高齢者が有償ボランティア等として活動できる仕組みづくり

3月5日 ①県立美術館の運営について

- ・特別展への赤字補てんについて
- ・瀬戸内の美術館との作品や人的交流について

②特定健診の受診率向上について

③「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトの継続実施について



3月4日 県議会生活福祉保健委員会の発言風景

2月定例会日程（平成25年2月18日～3月15日）

- 2月18日 本会議〔開会、議案理由説明など〕
- 2月19日 全員委員会〔提案事項の説明など〕
- 2月21日～28日 本会議〔代表質問、一般質問など〕
- 3月1日 予算特別委員会
- 3月4日～5日 各常任委員会、行政刷新・分権改革推進特別委員会
- 3月7日～13日 予算特別委員会
- 3月15日 本会議〔委員長報告、議案の採決など、閉会〕

決算特別委員会が設置されました

「平成23年度広島県歳入歳出決算認定」及び「平成23年度広島県公営企業決算認定」について24年10月2日から25年2月4日まで、11回にわたって審査を行いました。栗原俊二議員も委員として審査に加わり数々の問題点疑問点について議論いたしました。途中で監査書類の記載ミスが発覚し審査が中断したため、従来に比べ異例の長期間となりましたが、いずれも認定すべきものと決定されました。

栗原俊二議員が質問した内容は以下の通りです。



2月4日 決算特別委員会総括審査の発言風景

●決算特別委員会 栗原俊二議員の質問概要……………

部局別審査

◇教育委員会 (10月16日)

- ①高等学校学力向上対策事業について
- ②いじめの問題への対応について
- ③中学校における武道・ダンス必修化への対応について
- ④高校のPTA会費の用途について
- ⑤がん教育について

◇総務局 (10月17日)

- ①県税の徴収対策について
- ②税外債権回収対策について
- ③財産の適正管理と資産の活用状況について
- ④未利用県有地の処分について

◇土木局・企業局 (1月16日)

- ①広島空港リムジンバス利便性向上対策事業について
- ②県営住宅の子育て世帯への対応

③県営水道事業への再生可能エネルギー導入について

◇農林水産局 (1月17日)

- ①適正な森林資源の管理について

◇公安委員会 (1月21日)

- ①警察官の採用基準について

◇商工労働局 (1月23日)

- ①大河ドラマ「平清盛」効果の検証及び来年度以降のポスト清盛対策について
- ②県内在住外国人を活用した海外客誘客の取り組みについて
- ③県立広島産業会館の現状及び今後の活用について

総括審査 (2月4日)

- ①飲酒運転防止に向けた取り組みと効果について
- ②飲酒運転根絶を目指す条例制定について
- ③「飲酒運転根絶の日」の制定について
- ④がんに関する教育の推進について

フォトピックアップ

最近の活動から



千羽鶴を再生紙として活用する活動に参加

▶ 2013年2月14日

折り鶴をひとつひとつはずす作業が広島市特別支援学校で行われ、広島市の作業所や特別支援学校に通う生徒、大学生ボランティアらおよそ200人が集まりました。再生紙にするため、鶴をつなぐ糸を取り除いて仕分けします。これはNPO法人「千羽鶴未来プロジェクト」の取り組みで、8年前から沖縄や長崎に届いた折り鶴で再生をはじめ、去年からは広島市から譲り受けた折り鶴も使っています。名刺やノート、手帳、ボールペンや鉛筆に再生され販売されています。



県有施設への太陽光パネル設置を視察

▶ 2013年2月12日

新たに建て替えられた県営吉島住宅の屋上に太陽光パネルが設置されました。県営住宅では初。売電して得た収入は、県内の県営住宅運営資金として活用されます。我が会派では県有施設に積極的に設置することを求めています。



「青少年ワークサポートセンター広島」を視察

▶ 2013年2月1日

広島県からの委託事業「ひきこもりがちな子ども・若者の居場所事業」を展開しています。24年度で県からの支援がなくなりますが、事業は継続するそうです。人を相手にする事業は一旦スタートしたら簡単にはやめられません。



中区羽衣町の老朽信号柱を視察

▶ 2013年1月18日

コンクリートの劣化により、内部の鉄筋が腐り倒壊する恐れがあります。今年度建て替えが完了するのは対象の約4.5%に過ぎません。危険性を認識しながら放置されることは許されません。当局に早急な対応を求めました。